

## 記入事例

## まち交大賞／応募様式（案）

### 1. 応募者情報

都道府県・市区町村	〇〇県〇〇〇市
地区名	〇〇〇〇地区
応募者所属氏名	団体名：〇〇〇市 所属：〇〇〇〇〇部〇〇〇〇〇〇課 〇〇〇〇長 氏名：〇〇 〇〇
応募者連絡先	TEL：〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX：〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 e-mail：〇〇〇@〇〇〇.jp

### 2. まちづくり交付金アピールポイント

30字以内で簡潔に記述して下さい。

健康関連ビジネスを活用した自立的に生活できる健康まちづくり

### 3. まちづくり情報

下記の各項目について箇条書きで具体的かつ簡潔に記述して下さい。

まちづくりの目標と指標について (テーマ性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本市には薬草、健康食品等の生産者や企業が集積し、また地区内には高齢者が多いため「住民が自立的に生活できる健康まちづくり」をテーマとすることで、住民、地元企業の賛同を得ている。</li> </ul> <p><b>特にアピールしたいポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地区内の健康増進により、介護を必要としない状態に回復させるという、高齢住民にとって切実なことを目標に指標を設定した。</li> <li>●健康関連ビジネスの立地件数を指標とすることで、空き店舗活用等に具体的な方向性と目標を与えている。</li> </ul>
提案事業について (アイデア性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「健康まちづくり」を実現するため、健康交流をテーマとした地域交流センター、健康に歩いて暮らすための歩行者路のネットワーク化等のハード事業と、住民主体の健康づくり活動や健康ビジネスの誘致等のソフト事業の連動を基本としている。</li> </ul> <p><b>特にアピールしたいポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域交流センターを運営する基礎となる提案事業「健康増進プログラム開発事業」には、地元の健康関連企業、医療機関、福祉団体、NPO等（後述の「健康ビジネス研究会」のメンバー）の参加・協力を得ている。</li> <li>●また、提案事業「健康バンク事業」（当面は社会実験として実施）として、住民の健康状態とその改善状態を評価・点数化（貯金額にアナロジー）する仕組みにより、地域交流センターで展開する健康増進プログラムへの住民の参加を促す。</li> </ul>
計画の策定経緯と継続性について (プロセス性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行政の福祉・健康関係部局、社会福祉協議会、高齢者支援NPOの協力を得ながら、地区住民の居宅介護利用者によるワークショップを5回開催した。</li> <li>●平成〇〇年度から市内の健康関連産業（病院、福祉施設、薬草・健康食品、NPO等）の関係者による「健康ビジネス勉強会」（〇〇大学の健康スポーツ学科の協力による）を継続的に開催している。</li> </ul> <p><b>特にアピールしたいポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●居宅介護利用者ワークショップで議論された内容を拠点施設や提案事業に反映している。たとえば、地域交流センターに関して、ワークショップメンバーがバリアフリー化を体験・議論し、その結果を設計にフィードバックしている。この取り組みは施設の完成から運営段階まで継続する予定。</li> <li>●「健康ビジネス勉強会」での検討成果を受け、勉強会メンバーの中から出店・立地する企業・NPOが内定しつつある。</li> </ul>